

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木 大津教室			
○保護者評価実施期間	2025年1月13日 ～ 2025年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年1月13日 ～ 2025年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士や強度行動障害支援者の資格を持っている職員が在籍しており、より専門的な知識をもとに支援にあたることができている。	本年度から開所したため、保護者様のニーズを十分に理解し、関係性の向上に努めている。また、家庭での悩みや相談にも積極的に応じることで信頼してもらえるよう意識している。	関係機関との連携を図り、本児および保護者様のニーズに応えられるよう支援をしていきたい。
2	教室内に薪ストーブを併設しており、クッキング活動や普段の支援の中で取り入れることで火の温かみを感じ、炎の揺らぎを視覚的に捉えることで落ち着いて過ごすことができるよう工夫している。	燃料として使用する薪について、種類・大きさ・匂い等五感を使うことで興味関心を引き出すよう工夫している。また、薪割り体験や焚きつける順番等伝えていくことで将来の役に立てるよう支援している。	火の取り扱いや危険性も伝えていくことで自分の身を自分で守る力をつけていきたい。
3	地域交流に力を入れている。隣接するデイサービスさんと月に一度交流会を実施しており、制作活動やレクリエーションを通じてお互いの交流を深めている。	子ども達やご年配の方が安全でかつ楽しめる活動を計画している。また、年中行事にちなみ季節を感じられるような活動を準備していくことで変わりゆく季節を楽しめるように工夫をしている。	近隣に就労支援があり、放課後等デイサービス、デイサービス、就労支援の3箇所で相互の交流をして将来にわたって継続的な移行支援ができるよう、交流をしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別対応が必要な利用者に対してより充実した支援をしていきたい。また、将来を見据えた中で、小集団からでも関わりが持てるよう活動プログラムを充実させ「できないこと」ではなく「できること」「できた喜び」を実感できる支援をしていきたい。	各人の個別的課題の理解とそれに伴う支援力の向上が必要。また、支援者側の体制をしっかりと整えていくことで充実した支援を行っていきたい。	五つの領域を理解した上で、子ども達・保護者様に満足していただく支援をするためにはどうしたらいいのかしっかり検討していきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	果実の木 大津教室
------	-----------

公表日 年月日

利用児童数 年月日

回収数

19

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2			屋内は…という感じだが、公園も近くにあつていい環境だと思う。	近隣の地域資源も生かしながら活動に応じて配慮していきたい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3			職員数や専門分野の職員はよくわからない。	普段のやり取りの中でこまめに連絡を取り安心して利用していただけるよう信頼関係を築いていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	9				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	3				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	5	2	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	6	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1			いつもいろいろな活動をしていただき工夫されてると思う。	子どもの成長のためにできることを工夫してやっていきたい。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	2			障がいのない子と活動するメリットが分からない サービスとの交流もあり、公園では学校の友達と遊んだりしていると聞いている。	地域の方を含めてみんなで支え合う関係を築き、生きる力をつけ自己肯定感を上げられるよう支援に努めていく。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	8	2	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2			起こったことは共有していただいていると思う。	言葉だけでなく、写真でも確認していただき、迅速に対応していく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	5				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	2	1	ディスレクシアの子どもの育てるにあたって何か意見を聞けるところを紹介してほしい 保護者会等はまだ参加していない。	保護者間同士での交流を計画していきたい。職員も同席し、お困り感等を共有したり、繋がりを持っていただくことで安心感に繋げていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	6			うちの子も悪いと思うが何回も言われると困る。落ち着いたことまで伝えてもらわなくて大丈夫	出来ていないことに着目するのではなく、できたこと、喜びを共有し、しっかり保護者様にも伝えていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2			トラブルはすぐに伝えてほしい	職員間でもしっかりと共有し、迅速に保護者様にお伝えしていく。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1			お知らせあり。	SNSの周知も徹底し、かつ更新頻度もあ げることで見える支援を意識していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	4	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	3	2	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2				
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	3			メンバーによる。うちの子も悪いことは 毎回 承知している。 楽しみに通っている。	相性等も考慮していきたい。配慮できる 部分は配慮していき、楽しく通えるよう 関係性を構築していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				ありがたいと思っている。一番の不安で ある読み書きについて専門的な支援をも っとほしい。 いつも ありがとうございます。	保護者様やお子さんのニーズに応えられ るよう、職員のスキルアップをしていく 。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
果実の木 大津教室		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	個別に相談室を使用する等、状況に応じて使い分けている。	事前に活動を計画し、職員間で共有していきたい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3		より充実した支援をしていくためには人員確保の必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	階段や段差があるため、声掛け等で讀かないよう注意している。	スロープの設置についても検討していきたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		掃除の時間を定期的に行い、活動に応じて机を移動するなど過ごしやすい環境にしている。	小さなおもちゃ等が落ちていないように注意して確認していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンのために静養室を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		朝礼時に振り返りと目標を共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		風通しの良い環境を設定し、広く集約できるよう心掛けている。	引継ぎをうまくしていくことが必要。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	積極的に参加している。	情報を職員間で共有していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		本人支援だけでなく、ご家族も踏まえたところで支援の方向性を出せるよう留意している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		事前に意見を出し合いながら、安全に楽しく活動ができるかを話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		利用者や年齢に応じて偏りが無いよう、内容や場所、安全性について話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		共有ノートや連絡ツールを使い、全員が共通の認識を持てるよう工夫している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		小さなことでも共有するように心がけている。	伝えそびれがあるときがあるので、翌日までに連絡を入れるようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		アドバイスをするだけでなく、子どもの意思決定を待つ大切さを念頭に入れている。複数の選択しを常に準備している。	選択したことを尊重し、フォローアップまで徹底していきたい
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			児発管だけでなく、子どもとの関係性の中で精通している職員も積極的に参加していきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2		地域の保健、医療については連携が不十分なので強化していきたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		担当者会議等で児童発達支援事業所の方からお話は聞くが、積極的に情報共有はできていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		次年度障害福祉サービス事業所へ移行予定の方がいらっしゃるので、連携を深めていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地域の環境財源である、図書館や児童館、文化会館等に出向き広く交友が持てるよう工夫している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		公的機関等から提供のあった情報については積極的に促していきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	子育て経験のある職員を中心に悩みについて適切に応じるよう心がけている	個別に保護者面談は実施していないので、今後検討していきたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	オーシャンアロークルー징を実施し、多くの保護者様に参加していただいた。	普段の活動プログラムでも積極的に保護者参加を促し、交流する機会を増やしていきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		SNSを広く活用し、情報発信を行っている	更新頻度を上げていきたい
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		隣接するデイサービスへ伺い、交流しているが、招待はできていないので今後は計画していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	3	一目でわかるように示したり、個別に準備するなど工夫をしている	アレルギーがある子についてはしっかり医師の指示書を確認していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		重大なインシデントが起きる前に、報告・連絡を徹底しており、再発防止のためその日のうちに検討している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		人権擁護委員会を中心に虐待防止及び身体拘束の適正化に向けて話し合いの機会を設けている。また、セルフチェックを通じて職員一人ひとりの意識向上に努めている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			